

## ニホンザルの個体名及び各個体の紹介について

市川市動植物園では4月20日にメス、4月26日にオスのニホンザルの赤ちゃんが誕生しました。世界中の皆様より祝福のメッセージをいただき、本当にありがとうございます。多くの方より、この赤ちゃんの名前は何か？とご質問をいただいておりますが、本日の時点でまだ命名していません。

また当園としては、現在の状況下、この赤ちゃんサル2頭を含め、パンチを除く各個体を紹介することは当面の間控えさせていただきます。この声明では、その理由についてご説明いたします。

パンチが世界的な話題となって以降、電話やメール、また職員に直接などあらゆる形で、

「過去に人工哺育を受けた個体」

「パンチの生物学的な母親、父親」

「パンチが群れ入れ直前に一緒に過ごした個体」

「パンチを引きずったり攻撃的な行動をした個体」

「3月以降パンチに寄り添い、また一緒に遊ぶ個体」

などについての問い合わせが寄せられています。

動物園は、多くの動物について、個体ごとの名前や性格、生まれ育った経緯などの個性を紹介することを通じ、人々が動物たちを身近に感じ、愛着を持つとともに、動物の習性を学ぶことができるようにしています。パンチはそうした紹介(情報発信)を通じ、世界的に拡散されたことが現在の人気に繋がりました。

しかし現在、パンチに対する応援が非常に強くなったことで、その周囲のサル達への様々な感情をも呼び起こしてしまっています。それは好意や共感だけではなく、敵意や憎悪といったネガティブな感情も含まれています。

これまでも数回に渡り声明にてお知らせしたとおり、私たちの最優先課題は、パンチが群れの仲間たちと交流し、群れの一員となることであり、そのために慎重に群れを観察しつつ必要な措置を取ってまいりました。例えば3月8日に個体数頭を群れから離れたことなどです。

仮に個体名を公表した場合、国内外より「〇〇を保護して欲しい」「〇〇を群れから離して欲しい」などの意見が当園や職員に殺到することで、園の運営や飼育員の業務に深刻な影響を及ぼすことになり、最終的には飼育する全ての動物たちに影響が出るおそれがあります。

パンチも他のサルたちも、私たちは愛情と責任感をもって飼育を続けています。平穏な環境をサル山に提供したいと考えるからこそ、あえてパンチ以外の個体名や個性について公表も質問への回答もしないという選択をいたしました。

現在 SNS 等では、パンチやその周辺の個体について大量の情報が出回っています。飼育員から直接聞き取ったとされる情報や関係者を名乗って語られる情報、また、AI によって作られた画像や動画など、それらの中には正確ではないものも多く含まれます。

パンチや当園を応援するため、より多くの情報を知りたいという多くの方のお気持ちは十分理解しており心から感謝を申し上げます。そのお気持ちにお応えできないことは大変残念であり、お詫びいたします。いずれパンチが大人になり、私たちがそれぞれの個性を紹介できるその日までお待ちいただければ幸いです。

2026年5月1日

市川市動植物園